

別記様式その3（第7条関係）

議 長	事務局長	次 長	局 員		
					

令和3年3月31日

伊達市議会議長 様



会派名 フォーラム伊達・公明

代表者氏名 大條 一郎



令和2年度政務活動費収支報告について

伊達市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、別紙のとおり
令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。

別記様式その2（第7条関係）



令和2年度政務活動費収支報告書

会派名 フォーラム伊達・公明
代表者氏名 大條 一郎



1 収入

政務活動費 1,080,000円
利子 5円

2 支出

科 目	金 額	備 考
研修費	191,430	
調査研究費	8,640	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	93,280	
広報費	252,723	
広聴費	0	
事務諸費	56,554	
その他の経費	0	
合 計	602,627	

備考 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 収入支出差引残額 477,378円

出 納 簿

会派(議員)名 フォーラム伊達・公明

(No. 1/1)

年月日	整理 番号	項 目	摘 要	収入金額	支払金額	差引金額
2020.04.15	1	収入	伊達市議会事務局	540,000		540,000
2020.04.12	2	事務諸費	モニター台		2,889	537,111
2020.05.11	3	広報費	議会 新型コロナチラシ負担分		17,961	519,150
2020.05.12	4	広報費	ラクスル 会派報8号印刷代A4判		21,252	497,898
2020.05.18	5	広報費	ケンオリ (新聞折込市内民報新聞)		34,320	463,578
2020.06.25	6	事務諸費	ICレコーダー		7,109	456,469
2020.08.13	7	調査研究費	モンベル仙台店視察		8,640	447,829
2020.08.15	8	収入	利息 東邦銀行	2		447,831
2020.08.18	9	広報費	ラクスル 会派報9号印刷代A4判		20,240	427,591
2020.08.21	10	広報費	ケンオリ (新聞折込市内民報新聞)		33,330	394,261
2020.10.15	11	収入	伊達市議会事務局	540,000		934,261
2020.11.03	12	事務諸費	ICレコーダー用マイクロSDカード		980	933,281
2020.12.09	13	研修費	防災士研修		191,430	741,851
2021.02.20	14	収入	利息 東邦銀行	3		741,854
2021.03.03	15	事務諸費	タブレット年間通信費		45,576	696,278
2021.03.18	16	広報費	ラクスル会派報10号印刷代B4判		44,330	651,948
2021.03.19	17	広報費	ラクスル会派報10号再印刷代		44,330	607,618
2021.03.23	18	資料購入費	日経グローバル年間購読料		93,280	514,338
2021.03.25	19	広報費	ケンオリ (新聞折込市内民報新聞)		36,960	477,378
	20					477,378
	21					477,378
	22					477,378
	23					477,378
	24					477,378
	25					477,378
	26					477,378
	27					477,378
	28					477,378
	29					477,378
	30					477,378
	31					477,378
	32					477,378
	33					477,378
	34					477,378
	35					477,378
	36					477,378
	37					477,378
	38					477,378

支 出 総 括 表

費用区分「研修費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
13	2020.12.09	(株)日本防災士研 修センター	防災士研修	191,430	
	計			191,430	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

2 様式第 1 号（第 3 条関係）

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	13		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和 2 年 1 2 月 9 日	支出額	1 9 1, 4 3 0 円
経費の内容	令和 3 年 2 月 6 日、7 日実施 防災士研修費 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 ※ (貼りきれないときは裏面へ)			
別 紙 添 付			

※領収書貼付欄

(原本)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

フォーラム伊達・公明

領 収 書

料金所 郡山

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年 2月 6日 8時24分

車種 普通

通行料金 ¥1,600-
(現金)

—入口料金所— 桑折JCT

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号206-00580716-00

(原本)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

フォーラム伊達・公明

領 収 書

料金所 桑折JCT

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年 2月 7日18時06分

車種 普通

通行料金 ¥1,600-
(現金)

—入口料金所— 郡山

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号204-00591722-00

(原本)

令和2年12月9日

領収証

フォーラム伊達・公明 御中

金額 ¥161,700 -

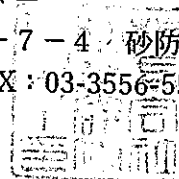
但 防災士研修講座受講料として上記正に受領いたしました

備考 内訳	コース名	20福島郡山2月コース	
	受講者名	佐藤 直毅 様、大條 一郎 様、池田 英世 様	
	受講料	¥147,000 -	3名様分
	上記消費税	¥14,700 -	3名様分

株式会社防災士研修センター

東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館7階

電話：03-3556-5051 FAX：03-3556-5535



※領収書貼付欄

(写)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。
フォーラム伊達・公明

領 収 書

料金所 郡山

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年 2月 6日 8時24分

車種 普通

通行料金 ¥1,600-
(現金)

—入口料金所— 桑折JCT
ETCなら小銭不要。各種割引もあります。
便利でお得なETCをぜひご利用下さい。
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号206-00580716-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。
フォーラム伊達・公明

領 収 書

料金所 桑折JCT

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年 2月 7日 18時06分

車種 普通

通行料金 ¥1,600-
(現金)

—入口料金所— 郡山
ETCなら小銭不要。各種割引もあります。
便利でお得なETCをぜひご利用下さい。
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号204-00591722-00

(写)

(写)

領収証

令和2年12月9日

フォーラム伊達・公明 御中

金額 ¥161,700 -

但 防災士研修講座受講料として上記正に受領いたしました

備考	コース名	20福島郡山2月コース
	受講者名	佐藤直毅 様、大條 一郎 様、池田 英世 様
内訳	受講料	¥147,000 - 3名様分
	上記消費税	¥14,700 - 3名様分

株式会社防災士研修センター
東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館7階
電話：03-3556-5051 FAX：03-3556-5535

該当するものに○(または✓)を表示します

☐ 振込金受取書(兼手数料受取書)

☒ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご振込日 2019年12月9日	
金融機関名(漢字)を左づめてご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)	
ゆうちょ銀行	
支店名(漢字)を左づめてご記入ください	
銀行 019	
東邦銀行あての振込 ☐ 東邦銀行	
銀行以外の場合は○をお付けください。 信金 ☐ 信組 ☐ 協 ☐ その他 ☐	
ご記入にあたってのお願い ■ 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。 ■ 金額の先頭に¥マークをご記入ください。 ■ 濁点(・)、半濁点(・)もマスを使用してご記入ください。	
預金種目 該当項目に○をお付けください 1. 当座 2. 普通 4. 貯蓄 9. その他 ○ ☐ ☐ ☐ ☐	口座番号 左づめてご記入ください 0628889
金額 十 百 千 万 十 百 千 万 十 百 千 万 円 4185700	消費税 内 880
お振込先 カタカナ ホウカイシキニシユウセンター	おなまえ(漢字) 防衛工研修センター様
ご依頼 カタカナ イカタニヒトヨシ	おなまえ(漢字) 池田 菜世様
おところ 伊達市箱崎宮原 39-4	日中ご連絡可能なお電話番号 022-583-2814

○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
○やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行



当行をご利用いただきましてありがとうございます

旅 費 計 算 書

期 間	令和 3年 2月 6日 ~ 令和 3年 2月 7日				
参加者氏名	大條一郎 佐藤直毅 池田英世				
調査(研修)先及び住所	防災士養成講座 郡山2月コース				
交通費	利用区間	自家用車(37円/km)			金額(円)
	伊達市保原町 ~郡山市(往復)	150 km			5,550
	利用区間	交通機関	運賃	人数	備考
				人	
				人	
				人	
				人	
				人	
	計				5,550
その他 経費	費 目	内 訳			金額(円)
	宿泊費①	6700 円 ×	1 泊 ×	3 人	20,100
	宿泊費②	円 ×	泊 ×	人	0
					0
					0
	駐車料金				
	車借上料(燃料代含む)				
	高速料金	(伊達~郡山)(郡山~伊達) 3200			3,200
	手土産代	0			0
	参加費(講習費・資料代込)	53900 円 ×	3 人		161,700
	資料代	円 ×	部		0
		受験料・登録料は 別途個人で支払(8000×3人=24000)			0
	その他	振込手数料(東邦銀行) ゆうちょ銀行へ送金			880
	計				185,880
合 計					191,430
受領日	令和2年12月9日	受領者氏名	池田 英世		
備考					



支 払 証 明 書

	百 万	拾 万	万	千	百	拾	壱	
1 支払金額				5	5	5	0	円

上記の金額を支払ったことを証明します。

内 訳	車賃 保原町-郡山市(往復150km) × @37
理 由	2/6~7開催 防災士養成講座のため郡山市労働福祉会館にて研修 受講 (自家用車利用)
債 権 者 住所・氏名	

令和 3年 2月 9日

会派(議員) 名 フォーラム伊達・公明

代 表 者 名 大 條 一 郎



※領収書貼付欄

No. 43664-1

ご利用明細書

Description

☆スターホテル郡山

〒963-8017 福島県郡山市長町3-5-6

TEL : 024-934-5221

FAX : 024-938-6486

お名前(Name)

フォーラム伊達・公明

様

お部屋 Room	ご到着日 Arrival	泊数 Nights	ご出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Issue	担当 Clerk	頁 Page
446	2021/02/06	1	2021/02/07	3	2021/02/06		1

日付 Date	お部屋 Room	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 QTY	金額 Charges	入金 Payment
02/06	446	宿泊代	6,700	1	6,700	
	447	宿泊代	6,700	1	6,700	
	546	宿泊代	6,700	1	6,700	
	446	現金				20,100
ご署名 Signature					ご利用合計 Total	請求額 Balance
会社名 Firm					20,100	0

43664-1

領収書

お名前(Name)

RECEIPT

フォーラム伊達・公明

様

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		20,100

☆スターホテル郡山

〒963-8017 福島県郡山市長町3-5-6

TEL : 024-934-5221

FAX : 024-938-6486

発行月日 (Issue)

2021/02/06

収 入
印 紙

支 出 総 括 表

費用区分「調査研究費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
7	2020.08.13	佐藤直毅議員他	モンベル仙台店視察	8,640	
	計			8,640	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

2様式第1号(第3条関係)

会派(議員)名

フォーラム伊達・公明

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員

整理番号	7
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費
支払年月日	令和2年8月13日
支出額	8,640 円
経費の内容	モンベル仙台店視察 (領収書に記載がある場合、記入不要)

※ 領収書貼付欄

※ (貼りきれないときは裏)

(原本)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

フォーラム伊達・公明

利用証明書

料金所 泉PAスマート

NEXCO東日本お客さまセンター

0570-024-024

または

03-5308-2424

20年 8月13日11時26分

車種 普通

通行料金 ¥2,140-

(後納)

-入口料金所- 桑折JCT

ETC 有効期限21年10月

会員番号 (支払 - 1回払い)

*****21016103

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号203-00011016-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

フォーラム伊達・公明

領 収 書

料金所 桑折JCT

NEXCO東日本お客さまセンター

0570-024-024

または

03-5308-2424

20年 8月13日15時32分

車種 普通

通行料金 ¥1,720-

(現金)

-入口料金所- 仙台南

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号204-00491452-00

※領収書貼付欄

(写)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

フォーラム伊達・公園

利用証明書

料金所 泉PAスマート

NEXCO東日本お客さまセンター

0570-024-024

または

03-5308-2424

20年 8月13日11時26分

車種 普通

通行料金 ¥2,140-

(後納)

-入口料金所- 桑折JCT

ETC 有効期限21年10月

会員番号 (支払 一回払い)

*****21016103

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号203-00011016-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

フォーラム伊達・公園

領収書

料金所 桑折JCT

NEXCO東日本お客さまセンター

0570-024-024

または

03-5308-2424

20年 8月13日15時32分

車種 普通

通行料金 ¥1,720-

(現金)

-入口料金所- 仙台南

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号204-00491452-00

支 払 証 明 書

	百 万	拾 万	万	千	百	拾	壹	
1 支払金額				6	6	6	0	円

上記の金額を支払ったことを証明します。

内 訳	車賃 保原町-仙台市(往復180km) × @37
理 由	8/13開催 モンベル仙台店視察 (自家用車利用)
債 権 者 住所・氏名	伊達市保原町字栄町100番地5 フォーラム伊達・公明 大條 一郎

令和 2年 8月 13日

会派（議員）名 フォーラム伊達・公明

代 表 者 名 大條 一郎



※領収書貼付欄

(原本)

駐車券 

 NPC24H
仙台中央4丁目P

フォーラム伊達・公明

20-08-13 11:57

精算08-13 12:49

駐車料金 400円
割引 0円

前払 0円
現金 400円
釣銭 600円

令頁 4又 訂正

青葉通一番町パーキング
フォーラム伊達・公明

令頁 4又 訂正

精算機 #01	A 精算No.000042
発券機 #01	発券No.005475
77-No.1	ハレットNo.031
入庫時刻	2020年 8月13日(木) 12:57
精算時刻	2020年 8月13日(木) 14:07
駐車時間	1:10
駐車料金	A料金 600円
=====	
合 計	600円
現金領収額	600円
お預り	1,000円
お釣り	400円

またのご利用をお待ちしております。

※領収書貼付欄

(写)

駐車券 ↑

 NPC24H
仙台中央4丁目P

フォーラム伊達・公明

20-08-13 11:57

精算08-13 12:49

駐車料金 400円
割引 0円

令頁 4又 4

前払 0円
現金 400円
釣銭 600円

青葉通一番町パーキング

フォーラム伊達・公明

令頁 4又 言正

精算機 #01	A 精算No.000042
発券機 #01	発券No.005475
77-No.1	ハレットNo.031
入庫時刻	2020年 8月13日(木) 12:57
精算時刻	2020年 8月13日(木) 14:07
駐車時間	1:10
駐車料金	A料金 600円
=====	
合 計	600円
現金領収額	600円
お預り	1,000円
お釣り	400円

またのご利用をお待ちしております。

旅 費 計 算 書

期 間		令和 2年 8月 13日 (木)				
参加者氏名		大條一郎 佐藤直毅 池田英世				
調査(研修)先及び住所		宮城県仙台市モンベル仙台店 宮城県仙台市青葉区一番町二丁目1-2仙台青葉通りビル1F				
交通費	利用区間	自家用車(37円/km)				金額(円)
	伊達市保原町 ～ 郡山市 仙台	180 km				6,660
	利用区間	交通機関	運賃	人数	備考	金額(円)
				人		0
				人		0
				人		0
				人		0
				人		0
	計					6,660
	その他 経費	費 目	内 訳			
宿泊費①		0 円 ×	0 泊 ×	0 人		0
宿泊費②		0 円 ×	0 泊 ×	0 人		0
						0
駐車料金						1,000
車借上料(燃料代含む)						
高速料金		(伊達・桑折～仙台泉スマート) (仙台南～伊達・桑折)			3200	3,860
手土産代				0		0
参加費(講習費・資料代込)		円 ×		人		0
資料代		円 ×		部		0
						0
その他		会派外参加者1名負担分¥2,880は徴収した11520×1/4=2880				-2,880
計					1,980	
合 計					8,640	
受領日	令和 2年 8月 13日	受領者氏名	池田 英世			
備考						



支出総括表

費用区分「資料購入費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
18	2021.03.23	(株)日経BPマーケ ティング	日経グローカル年間購読料	93,280	
	計			93,280	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号（第3条関係）

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	18		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 <u>資料購入費</u> 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和 3 年 3 月 23 日	支出額	93,280円
経費の内容	日経グローバル年間購読料 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ)			

領 収 証

No 096970	
フォーラム伊達・公明	殿 (5320044741)
￥ 92,400	
但し 日経グローバル 年間購読代金として (2021年4月～2022年3月) 上記の金額正に領収いたしました 2021年 3月 23日 東京都港区虎ノ門4-3-12 株式会社 日経BPマーケティング	
	扱 印 

☐ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書（兼手数料受取書）

平成 23 年 3 月 3 日 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書（兼手数料受取書）			
お振込先	金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要) 21713 支店名(漢字)を左づめでご記入ください 豊明	銀行	出 張 店 所
	東邦銀行あての振込 ☐ 東邦銀行 銀行以外の場合は○をお付けください。 信金 ☐ 信組 ☐ 農協 ☐ その他 ☐	ご記入にあたってのお願い ■ 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。 ■ 金額の先頭に¥マークをご記入ください。 ■ 濁点(・)、半濁点(゜)もマスを使用してご記入ください。	
お受取人	預金種目 該当項目に○をお付けください 1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他 ☐ ☒ ☐ ☐ 口座番号 左づめでご記入ください 1988168	金 額	十 百 千 万 十 万 千 百 十 円 ¥92400
	カタカナ カフ・シキカ13+=ソト10- セ・-ア-471=7		消費税込手数料 円 880
依頼人	おなまえ(漢字) (株) 日経BPア-ケテ-7	様	
	おなまえ(漢字) ア-54(伊達・公日) 池田 栄世	様	
人	おところ 伊達市南町 5-4	様	
	日中ご連絡可能な電話番号 024-123-4567	様	

株式会社 東邦銀行

当行をご利用いただきましてありがとうございます

支 出 総 括 表

費用区分「広報費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
3	2020.05.11	きょうめい	議会 新型コロナチラシ負担分	17,961	
4	2020.05.12	ラクスル株式会社	ラクスル 会派報8号印刷代 A4判	21,252	
5	2020.05.18	ケンオリ	ケンオリ (新聞折込市内民報 新聞)	34,320	
9	2020.08.18	ラクスル株式会社	ラクスル 会派報9号印刷代 A4判	20,240	
10	2020.08.21	ケンオリ	ケンオリ (新聞折込市内民報 新聞)	33,330	
16	2021.03.18	ラクスル株式会社	ラクスル会派報10号印刷代B4 判	44,330	
17	2021.03.19	ラクスル株式会社	ラクスル会派報10号再印刷代	44,330	
19	2021.03.25	ケンオリ	ケンオリ (新聞折込市内民報 新聞)	36,960	
	計			252,723	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

2様式第1号（第3条関係）

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議員
		

整理番号	3		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和2年5月11日	支出額	17,961 円
経費の内容	議会 新型コロナ対応チラシ負担分（領収書に記載がある場合、記入不要）		
※ 領収書貼付欄 ※ （貼りきれないときは裏面へ）			
別紙添付			

請 求 書

請求額 17,961 円

令和2年4月17日実施のコロナウイルス注意喚起チラシの作成・配布の負担金として、上記金額を請求いたします。

令和2年 5 月 11 日

会派
フォーラム伊達・公明 様

(幹事会派)

「きょうめい」

代表 八 巻 善 一



領 収 書

領収額 17,961 円

令和2年4月17日実施のコロナウイルス注意喚起チラシの作成・配布の負担金として、上記金額を領収いたしました。

令和2年 5 月 11 日

会派
フォーラム伊達・公明 様

(幹事会派)

「きょうめい」

代表 八 巻 善 一



2 様式第 1 号 (第 3 条関係)

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	4		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和 2 年 5 月 1 2 日	支出額	2 1, 2 5 2 円
経費の内容	ラクスル 会派報 8 号 A4 1 1 0 0 0 枚 印刷代 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ) 別 紙 添 付			



日付: 2020年5月12日
領収書番号: R-2005124351

フォーラム伊達・公明御中

株式会社
ラクスル

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥21,252-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
2005124351-01	(伊達市議会派報 2020.5月発行) チラシ・フライヤー、A4,両面カラー,光沢紙(コート),標準 : 90kg	11,000部	2020年 5月14日	¥19,320
注文内容:				¥19,320
注文合計:				¥19,320
消費税:				¥1,932
ご請求合計金額:				¥21,252
お支払い方法:				コンビニ支払い

※領収書貼付欄

(原本)

セブン-イレブン

福島県福島市瀬上町字四斗時31-1

電話: 024-553-0211 レジ#2

2020年05月12日(火) 09:30 責071

インターネットショッピング払込領収書

お客様控

フォーラム伊達・公明

池田 英世

様

¥21,252-

払込先名 ラクスル (GMOペイ
メントゲートウェイ)

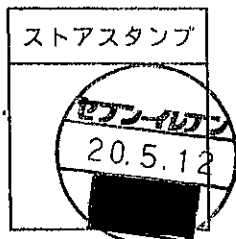
お客様用連絡先

03-4530-3733, contact@raksul.com

払込票番号

7211-97467-3784

2020年05月12日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。

※領収書貼付欄

(写)

セブン-イレブン

福島県福島市瀬上町字四斗時31-1
福島県福島市瀬上南店

電話：024-553-0211 ｼｼﾞ#2

2020年05月12日(火) 09:30 責071

インターネットショッピング払込領収書

お客様控

フォーラム伊達・公明

池田 英世

様

¥21,252-

払込先名 ラクスル (GMOペイ
メントゲートウェイ)

お客様用連絡先

03-4530-3733, contact@raksul.com

払込票番号

7211-97467-3784

2020年05月12日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。

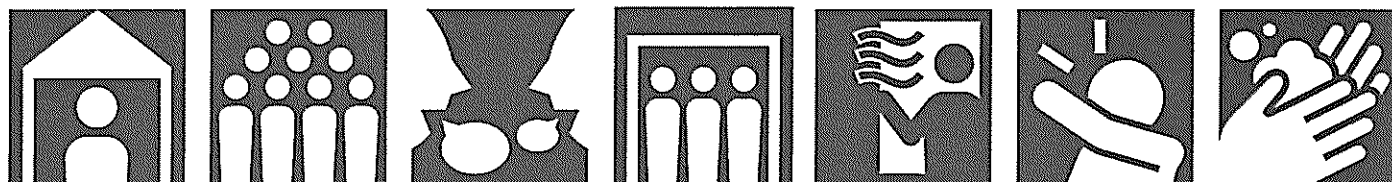
フォーラム伊達・公明

この度の新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々、ご家族の皆様にお悔やみを申し上げますとともに、病床にある皆様にお見舞い申し上げます。

さて、政府は新型コロナウイルスの感染爆発を食い止めるために、4月7日、7都府県に発出した緊急事態宣言を16日全国に拡大しました。宣言により市民の皆様におかれましては、不便な生活を強いられていることと存じ上げます。また、経済活動においても大変厳しい状況にあります。命を守ることを最優先に掲げ、感染症の収束に向け一致団結して参りたいと存じます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急経済対策を盛り込んだ25兆6,914億円に上る過去最大の2020年度補正予算案は、4月30日の参議院本会議で可決、成立しました。全国すべての人に対する一人当たり10万円を給付する「特別定額給付金」をはじめ、中小企業への資金繰り支援策、感染拡大防止策や医療提供体制の充実などが盛り込まれました。市においても「伊達市新型コロナウイルス対策室」を設置し、早期執行に努めることとしています。また、地方創生臨時交付金を活用し必要な支援策に取り組んでいます。

市議会は「新型コロナウイルス感染症対策協議会」を立ち上げました。会派としても様々な提案をしております。市民の皆様とともに、春が来るのを信じて、この困難な冬の時代を乗り越えてまいりたいと存じます。



外出控え

密集回避

密接回避

密閉回避

換気

咳エチケット

手洗い

◆新型コロナウイルス感染症に伴う主な給付金・協力金

特別定額給付金(個人・世帯)

4月27日時点で、住民基本台帳に登録されているすべての方々に、ひとり10万円の給付金を支給します。申請方法は郵送とオンラインがあり、申請期限は受付開始日から3カ月以内です。

特別定額給付金コールセンター 0120-260020

臨時特別給付金(個人・世帯)

感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みとして児童手当を受給する世帯に対し、子どもひとり1万円の給付金を支給します。申請は不要、6月5日に振り込み予定です。

伊達市役所子ども支援課 024-573-5652

持続化給付金(事業主)

感染症拡大の影響により、ひと月の売上げが前年同月比で50%以上減少している事業主に、中小法人等には上限200万円、個人事業者等には上限100万円の給付金を支給します。

持続化給付金コールセンター 0120-115-570

感染症拡大防止協力金(事業主)

福島県緊急事態措置に基づき、県の要請や協力依頼に応じて、4/28~5/6までの間休業または短縮営業している事業主に、条件により10万円・20万円・30万円の協力金を交付します。

県緊急事態措置コールセンター 024-521-8643

◆会派の議会活動報告…3月定例議会

3月定例議会は、2月27日から3月19日までの22日間で開催されました。会派として議案調査を行い、佐藤直毅議員と池田英世議員は一般質問、大條一郎議員は総括質疑で執行部に質しました。

子どもたちのための事業継続を！

3月定例議会での質疑は、①工業団地浸水対策事業 ②田んぼダム減災事業 ③浄化槽設置支援事業 ④市営住宅維持管理事業 ⑤道路新設改良事業 ⑥宅地耐震化調査事業 ⑦芸術・文化、生徒会活動事業 ⑧出産祝金支給事業 ⑨青少年育成市民会議団体支援事業 ⑩地域医療確保対策事業 ⑪予防接種事業について、11点行いました。⑦と⑨について、市はヤングアメリカンズ事業と立志式後のマナー教室を終了するとして予算を減額しましたが、事業を継続すべきとの思いから、ヤングアメリカンズ事業の観劇の所感を求めたところ、市長は「子どもたちが生き生きと、そして自信にあふれた表情で自分を表現していて、一生懸命な姿に感動を覚えた」と答弁。教育長は「子どもたちが少しでも前に進もうとする力強いエネルギーを感じた」と答え、「子どもたちをまずは第一にと言う中心軸に据えながら、そういう視点で取り組んでいくということは、極めて大事であると考えています」との前進的な答弁をいただきました。



地域ごと、家族ごとの避難計画作成を！



災害は必ず起こるという想定で備えなければなりません。今私たちができることは、災害発生時の避難計画を地域ごと、家族ごとに作ることです。執行部に質したところ、今年度、自主防災組織毎に地域避難計画策定の計画があるとのことでした。続いて、旧町毎の自主防災組織の組織率を質問、保原地域と霊山地域の組織率の低いことが明らかとなりました。今年度、両地域の組織率50%以上を目標に取り組むとのことでした。また、一時避難所として集会所等への避難を提案、集会所等に備蓄する非常食を購入する場合の補助について質しました。訓練等の補助の中で、避難訓練をしたときに水など備蓄品を事前に購入し、それを常時の備蓄品として使うということであれば可能であるとの答弁をいただきました。最後に、避難行動要支援者の個別計画をケアマネジャーが作成するモデル事業を提案、「大変実効性の高い計画になる可能性があり、先進事例を参考に今後検討させていただきます」との答弁をいただきました。

市の治水対策を問う！ ツール・ド・ふくしまに続け！

国の阿武隈川流域の治水対策を聞いたところ、主に令和の大改修として河道掘削や上流で遊水地整備などを行う予定との答弁。また、樋門操作にフラップゲート使用の利点、内外水位差で自動開閉し、操作遅れ、人為的ミスの解消、操作員退避時にも機能するメリットがあると見解を聞いた後、伊達第二工業団地内を流れる新堀川樋門にフラップゲート設置を県に訴えるよう要望。阿武隈川の河道掘削事業で出る約220万tにおよぶ大量の土砂を工業団地造成などに利用すべきと訴えました。市は土質など条件、課題がクリアできる場合は活用するとの見解でした。また、会派で提案し予算のついた田んぼダムの先進地視察を強く訴えました。ジャパンエコトラックの作成したルートマップの発行部数と配布計画について質問、4市観光圏協議会で2万部作成し、2,000部を市内の道の駅などに配布をしたとの答弁。林道大霊山線から相馬、ほか白根地区の三浦弥平などに関連づけたコースを県に働きかけるべきと訴えたところ、市長より「体験型観光として今後非常に大きな起爆剤になることから4市観光圏協議会と共に要望してまいりたい」との答弁をいただきました。



2様式第1号（第3条関係）

会派（議員）名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	5		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和2年5月18日	支出額	34,320 円
経費の内容	ケンオリ 伊達市内福島民報新聞新聞折込代 （領収書に記載がある場合、記入不要）		

※ 領収書貼付欄（貼りきれないときは裏面へ）

5

領 収 証 A No. 011833

2020年 5月18 日

フォーラム 伊達 公明 様

金 額 ¥ 34,320

5万円未満 非課税
 100万円以下 200円
 200万円以下 400円
 300万円以下 600円
 500万円以下 1,000円
 1,000万円以下 2,000円

但し 折込代として

種 別	金 額
現金・小切手	✓
振 込	
相殺・その他	
手 /	
形 /	

上記金額正に領収いたしました。



KenOri 株式会社 ケンオリ

□ 本 社 〒063-0724 仙台市青葉区本町2-3
 TEL (024)844-8400 FAX (024)344-9093

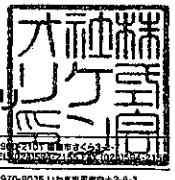
□ 仙台支社 〒980-2101 仙台市青葉区中央3-3
 TEL (022)221-0221 FAX (022)221-0222

□ 会津若松支店 〒965-0059 会津若松市インフーワン75
 TEL (0242)22-6300 FAX (0242)22-6302

□ いわき支店 〒970-0025 いわき市平岡田上2-0-3
 TEL (0246)24-2900 FAX (0246)24-2504

□ 仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-24ビル2F-A
 TEL (022)217-8768 FAX (022)721-5580

代表取締役社長 大川原 順一



取扱者印


（金額訂正、並びに社印取扱者印無きものは無効です）

2様式第1号（第3条関係）

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	9		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和2年8月18日	支出額	20,240 円
経費の内容	ラクスル会派報9号 A4判 11,000枚 印刷代（領収書に記載がある場合、記入不要）		
※ 領収書貼付欄 ※ （貼りきれないときは裏面へ）			
別 紙 添 付			

※領収書貼付欄

(原本)

セブン-イレブン
福島伊達箱崎店
福島県伊達市箱崎字中2-1

電話：024-583-3232 レジ#2

2020年08月18日(火) 11:04 責015

インターネットショッピング払込領収書

お客様控

フォーラム伊達・公明

池田 英世

様

¥20,240-

払込先名 ラクسل (GMOペイ
メントゲートウェイ)

お客様用連絡先

03-4530-3733, contact@raksul.com

払込票番号

7213-30013-5737

2020年08月18日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。

※領収書貼付欄

(写)

アセブンイレブン

福島伊達市箱崎店
福島県伊達市箱崎字中2-1

電話：024-583-3232 ｼｼﾞ#2

2020年08月18日(火) 11:04 責015

インターネットショッピング払込領収書

お客様控

フォーラム伊達・公明

池田 英世

様

¥20,240-

払込先名 ラクスル (GMOペイ
メントゲートウェイ)

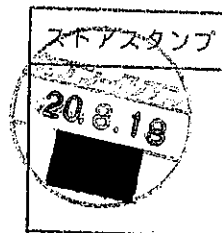
お客様用連絡先

03-4530-3733, contact@raksul.com

払込票番号

7213-30013-5737

2020年08月18日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。



日付: 2020年8月18日
領収書番号: R-200818523554

フォーラム伊達・公明御中



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥20,240-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
200818523554-01	(伊達市議会派報 2020.8月発行②) チラシ・フライヤー、A4,両面カラー,光沢紙(コート),標準 : 90kg	11,000部	2020年 8月19日	¥18,400
注文内容:				¥18,400
注文合計:				¥18,400
消費税:				¥1,840
ご請求合計金額:				¥20,240
お支払い方法:				コンビニ支払い

フォーラム伊達・公明

◆会派の視察・研修報告…mont・bell (モンベル) 仙台店

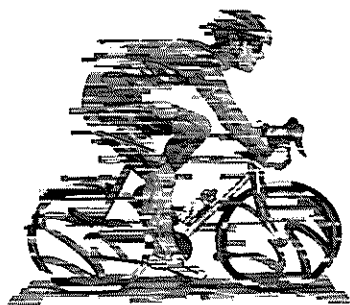


フォーラム伊達・公明は、8月13日に「これからの地域社会での自転車活用及びアウトドアを活かした観光について」の取り組み方を調査研究する為mont・bell(モンベル)仙台店へ伺いました。モンベルの提唱するジャパンエコトラックは、福島市、二本松市、伊達市、相馬市で構成する4市観光連絡協議会と共に、サイクリング6コースを含めた「吾妻・安達太良・霊山・松川浦」を作成、紹介してくれました。(サイクルショップ、伊達市商工観光課や道の駅などで配布中)

◆自転車を活用した地域活性化について

ここ数年サイクリングブームが起こっている。コロナ禍のなか、都会でも公共交通機関からの乗り換えが進んでいる。行政などの取り組みとして高齢者の免許返納者に対してもデマンドタクシー券などの提供などから健康面なども考慮し、自転車の活用なども考えられる。また、それらの基になるインフラや交通網、制度、交通教育の構築など課題はあるが、進むべき方向性は時代にマッチしていると考えられる。社会基盤を整備すると同時に意識向上のため観光、イベント開催など行うべきと話し合いました。

◆アウトドアを推進するモンベルと自治体の関係性について興味深い話が聞けました。



北海道をはじめ、いくつかの自治体と協議し、オープンした施設を中心に全国90万人の会員を中心とした多くの交流人口を増やすことができ、経済効果を上げている。そのノウハウがモンベルにはある。東北中央道伊達桑折ICができ大型商業施設の誘致など、伊達市を取り巻く環境が変化するなか、福島県初の出店や交流人口の増加など意見交換の場をつくることの重要性を確認しました。また、市長とモンベル会長との話し合いができれば更に実のあるものになることなどを確認しあい、今後も交流を深めていくことを約束した。

今回の視察でお世話になったモンベルとは、1975年に現会長の辰野勇氏が大阪市にて創業した会社。“Light&Fast” “Function is Beauty”をコンセプトに、テント、バックパック、寝袋、登山靴、レインウェア等各種アウトドア商品を扱う。モンベルグループとして米国、スイスなど国内外に7社あり、グループ全体でアウトドア用品の製造から卸売・販売・イベント運営企画・保険業などを総合的に手掛けている。



◆会派の6月定例議会活動報告…一般質問・総括質疑

マイナンバーカードを取得しよう！



6月定例議会での質疑は、手数料条例の一部改正と、補正予算9点について行いました。手数料条例の一部改正の概要は、今後、マイナンバー通知カード(マイナンバー開始当初送付された紙のカード)の再発行が出来なくなるというもので、紛失した方はマイナンバーカードを申請することになります。

マイナンバーカードを取得することによるメリットについて質したところ、住民票や、印鑑証明書などの各種証明がコンビニエンスストアで取得でき、本人確認の公的証明書としての使用や、スマートフォンやパソコンで確定申告も可能であり、今後は、健康保険証として利用できるようになるとのこと。また、マイナンバーカードを活用した消費活性化策であるマイナポータルの利用ということで、キャッシュレス決済サービスでポイントの還元が予定されています。市民サービスの向上のためにも現在12.7%(5/10現在)であるマイナンバーカードの交付率の向上を図るべきと質したところ、「交付率向上のために有効な取り組みを検討していく」との答弁がありました。

コロナとの長丁場の戦いに備え「新しい生活様式」の導入を！



緊急事態宣言の解除を受け、新型コロナウイルスとの長丁場の戦いに備え「徹底した行動変容の要請」と感染拡大を予防する「新しい生活様式」への移行の必要性が指摘されました。市の「新しい生活様式」への取り組みと事業者などへの取り組み支援策、感染症拡大による社会課題への対応などについて質問しました。まずは、感染対策の司令塔となる市役所の「新しい生活様式」導入への取り組みについて質問。机やカウンターの消毒、アクリル板の設置、時差出勤、分散業務など、今回行った取組を継続することで、市役所内での新しい就業スタイルとして浸透させていくとのことでした。行政手続きのオンライン化や交流館をサテライトオフィスとして活用し、地元職員の配置と窓口機能を持たせることを提案しました。

次に学校の取り組みとして、授業時間の確保策と「学校の新しい生活様式」について質問。「長期休業期間の活用を検討しており、現在、夏休みは8月1～18日を予定しています。2学期以降、感染拡大の恐れが否定できませんので、そのような事態になれば土曜授業や冬休み期間中の授業も含め対応してまいります」との答弁をいただきました。オンライン授業の導入と課題については今後も執行部と議論を続けてまいります。

新型コロナウイルス感染症とこれからを問う！



市民が感染を疑われる場合、高校生以上はかかりつけ医に電話で相談して判断すること、かかりつけ医がない場合は6月に福島北医療センター敷地内に開設した発熱外来に電話予約します、来所時は保険証・お薬手帳・5千円が必要であると説明がありました。市の隔離医療体制、確保病床数など聞いたところ、県の担当だが、重症者用20床、病院200床、ホテル等600床、ピーク時換算で800床の確保として対応していると説明がありました。「新型コロナウイルス感染予防ハンドブック」を市民へ配布を要請したところ、市民によくわかっていただき対処することが重要なので、配布や閲覧等対応したいと市長に答弁いただきました。一人10万円の特別定額給付金ですが、DV等の理由で当該個人に渡らないことへの対策について質したところ、該当の世帯主が申請しても給付しない対応を取っているとの説明がありました。教育面でのコロナ禍対策としてケーブルテレビの全市配信と、小・中学校のICT化の費用比較について質したところ、ケーブルテレビ全市配信は平成21年当時の見積もり(新規敷設)で約50億、それに対し通信ネットワーク・タブレット整備の場合、総額約8億円できるとの説明でした。最後に自然災害発生時、新型コロナ感染症対策避難所開設マニュアルの存在についての問いに、避難所運営マニュアルは、5月に作成済との答弁がありました。

2様式第1号（第3条関係）

会派（議員）名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	10		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和2年8月21日	支出額	33,330 円
経費の内容	ケンオリ 伊達市内福島民報新聞折込代（領収書に記載がある場合、記入不要）		

※ 領収書貼付欄

※ （貼りきれないときは裏面へ）

領 収 証 A No 011842

2020年 8月21日

フォーラム伊達 公明 様

金 額	733330
-----	--------

5万円未満 非課税
 100万円以下 200円
 200万円以下 400円
 300万円以下 600円
 500万円以下 1,000円
 1,000万円以下 2,000円

但し 8/25折込代として

種 別	金 額
現金・小切手	
振 込	
相殺・その他	
手	/
形	/

上記金額正に領収いたしました。

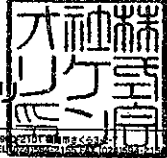


KenOri 株式会社 ケンオリ

☐ 本 社 〒963-0724 山形県田川町上村字金田26-3
 TEL (024)344-3400 FAX (024)344-9993

☐ 会津若松支店 〒965-0058 会津若松市インター通り75
 TEL (0242)22-6300 FAX (0242)22-6302

☐ 仙台支店 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-24ビル2F-A
 TEL (022)217-6755 FAX (022)217-5583



代取取締役社長 大川原 順一

取扱者印



（金額訂正、並びに社印取扱者印書きものは無効です）

2 様式第 1 号 (第 3 条関係)

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	16		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和 3 年 3 月 1 8 日	支出額	4 4, 3 3 0 円
経費の内容	ラクスル 会派報 10 号 B4 判 11000 枚 印刷費 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 ※ (貼りきれないときは裏面へ)			
別 紙 添 付			



日付: 2021年3月18日
領収番号: R-210318509942

フォーラム伊達・公明 御中

株式会社
ラクスル

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥44,330-

但し、商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
210318509942-01	(伊達市議会派報 2021.3月発行 (最終2)) チラシ・フライヤー、B4、両面カラー、光沢紙(コート)、標準 : 90kg	11,000部	受付日確定後 4日以内	¥46,310
注文内容:				¥46,310
注文合計:				¥46,310
キャンペーン値引き:				¥-6,010
消費税:				¥4,030
ご請求合計金額:				¥44,330
お支払い方法:				コンビニ支払い

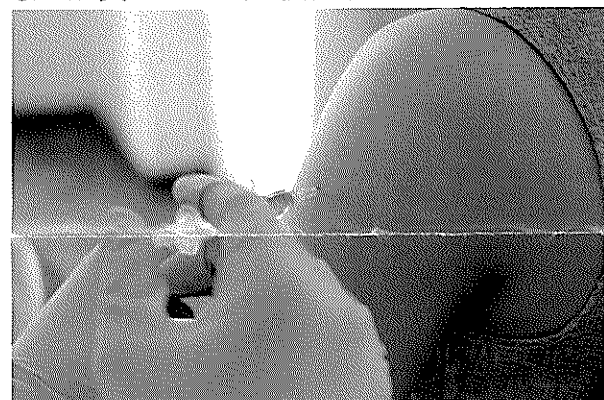
商品:

フォーラム伊達・公明

◆新型コロナウイルスワクチン 接種率100%!

3月定例議会の一般質問では、『新型コロナウイルスワクチンに関すること』について質問致しました。冒頭市長に、現在の市民の最大の関心事は何かと質したところ、「新型コロナウイルスワクチンの接種に係ることではないでしょうか」との答弁がありました。今定例議会では13名の登壇者の中で5名の同僚議員が、この件を質問したことからも市民の関心の高さが窺えます。

次に、接種の努力義務について伺ったところ、「定期接種のため努力義務がありますが、妊婦の方については、現時点では十分な情報が無く安全性が確立していないため、努力義務にかかる規定を適用しない」とのこと。また、接種会場については、集団接種は各地区5カ所の体育館、または掛かりつけ医により接種が可能ですが、会場への交通手段にデマンドタクシーを無料で活用できないか質したところ「検討する」とのことでした。さらに、蔓延防止のためには高い接種率の目標が必要と訴え、接種率の目標を伺ったところ、市長から「100%を目指します」との力強い答弁がありました。



最後に、未曾有の大事業完遂のための決意を市長に求めたところ「1年以上続く新型コロナウイルス感染症から早く抜け出して、元の安心した生活に戻りたいというのが市民の強い思であります。ワクチン接種は、この感染症を終息させる切り札だと考えておりますので、安心して迅速に接種できる体制を構築していくことが必要であると考えます。そして、医療従事者には接種に専念してもらえ体制を整えるために、市職員一丸となり市民の命と健康をしっかりと守る体制を整えてまいりたいと思います」との答弁をいただきました。

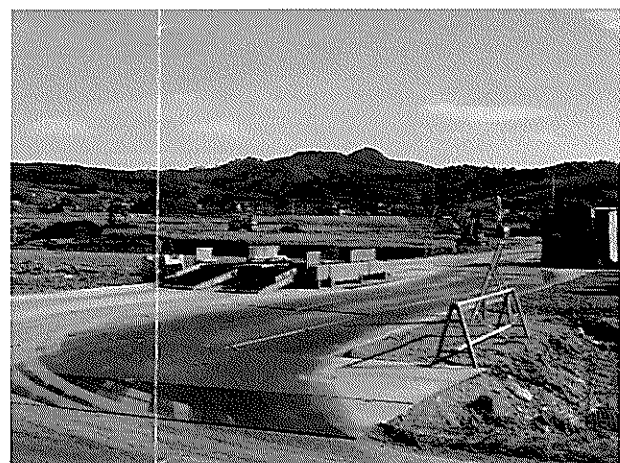
◆事前着工の疑い!?新工業団地造成工事

伊達市の最大の課題は人口減少と少子高齢化への対応です。活力ある持続可能な伊達市を実現するためには若者の定着を図ることが重要であり、市は雇用創出のため保原町に約15ha（東京ドーム約3個分）の新工業団地を整備する計画です。令和3年度当初予算にその用地買収費用として約5億円、造成費用として2年間で約17億円の予算が計上されました。令和4年度中の完成、販売開始を目指しています。

このような中、買収予定地で造成工事が始まっているかのような状況になっているので、3月定例議会の総括質疑で執行部に質しました。答弁では、国土交通省が福島市で行っている阿武隈川河道掘削工事で出た残土を買収予定地に仮置きしているとのことでした。土地利用にあたっては、地権者と国が直接契約しており市の関りはないとのこと。ただ将来的に残土を造成に使う場合、放射線量や地震による液状化などの懸念がありますので執行部に質したところ、現在予定地の空間放射線量は0.07～0.11μSvで心配はないとのこと、液状化についても残土利用に問題はないとのことでした。残土を造成に利用した場合の経済的効果については、約1億円程度の予算削減効果が見込まれるとのことでした。



最後に、3月定例議会終了後1日も早く地権者への用地買収費用の支払いと早期の完成をお願いしました。予算総額約24億円の大事業ですので、今後も企業誘致活動も含めしっかりと見守ってまいります。



◆「殺処分ゼロへ！」急げ動物愛護推進事業！



平成30年度福島県の犬猫殺処分数は全国でワースト1位となった。市内にはそれを限りなくゼロに近づけようとする地域ボランティアがいる。それを踏まえ一般質問で取り上げた内容をいくつか紹介します。まず市民が放浪犬・猫を保護した場合どうすればよいのかの質問に対して、市民が市や警察署に連絡すると市の担当あるいは警察がそれを引き継ぎ、動物愛護センターに連絡し引き渡すことになっているが、法律改正により所有者ありと推測される場合等引き取れない場合があるとの答弁でした。また市の動物愛護に対する認識を質したところ、ペットは生活に欠かせない存在であり市民の関心が高いと認識している、一方で飼い主の知識不足、モラル欠如などで苦情が寄せられていることもあり、調和を図り快適な共存生活を実現することが重要との答弁でした。

次に地域で活動しているボランティアを把握しているか質したところ、市はボランティア団体を把握していないことが分かった。既存ボランティアは認知されるよう法人格取得などの活動が必要であることが浮き彫りになった。また市は県で行っている「ボランティア養成講座」を受講いただき動物愛護推進の啓蒙の人材として協力いただきたいと見解を述べた。

自然災害発生時におけるペット同行避難について質したところ、現在避難所は同行避難できない状況であるが、今後対応できる施設を選定しゲージ等必要品を持参する原則での施設設置と改正ハザードマップに記載することも検討するとの答弁だった。ただ平時より飼い主がペットの預け場所等の確保など準備しておくことも重要だと感じた。教育現場での取り組みについての質問には「生命尊厳と思いやりの心」を学校経営ビジョンや教育計画に位置付けとり組んでおり教育長は取り組むことで「いじめ」などの問題解決にもつながると見解を述べた。最後にふるさと納税を原資に猫の去勢、不妊治療などの助成など動物愛護事業を立ち上げるべきとの提案に、市長から各地域で取り組まれている動物愛護プロジェクトについて調査研究を始めると前向きな答弁をいただいた。

不妊去勢手術を実施しましょう

猫は本能に従って交尾、妊娠・出産をします。
自分で繁殖をコントロールすることはできないのでどんどん増えます。

メスの生殖生理

- 子猫は、生後4～12か月で繁殖できるようになり、1回の出産で4～8匹の子猫を産み、栄養状態が良いと1年で2～4回の出産が可能です。
- 1匹の猫が1年間で20匹以上に、2年で80匹以上に増えることが可能です。



4か月齢のメス猫



◆「防災士」を目指し、養成研修講座を受講！



フォーラム伊達・公明は「防災士」の資格取得を目指し、2月6、7日の両日、郡山市労働福祉会館で開催された防災士養成研修講座に参加しました。参加に際しては、事前の自宅学習と課題の提出が義務付けられており、3人とも硬くなった頭をフル回転して350ページもあるタウンページのような教材と格闘、10時間程度かかる課題をなんとかこなし研修講座初日に臨みました。2日間の午前9時から午後5時までの過酷な缶詰研修終了後、同会場で午後5時半から防災士資格取得試験を受験。合格ラインは30問の8割、24問以上正解しなければなりません。迷った問題も何問かありましたが、後日合格通知が届き、無事3人とも合格いたしました。

早速、「防災士研修講座受講終了証」と「防災士資格取得試験合格」「普通救命講習終了証」の3つを添付し、日本防災士機構へ防災士認証登録申請を行い、現在「防災士認証状」と「防災士証」が届くのを心待ちにしております。今後もこの知識を活かし、地域の防災リーダーとして、そして安全・安心なまちづくりに貢献してまいります。

防災士とは、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有するものとして、NPO法人日本防災士機構が認定した人たちです。

災害大国である日本において、日常から防災対策は欠かせません。1995年の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて、予測不可能な被害に対し、正しい知識と適切な判断を兼ね備えた人材を育てようと、防災士制度の検討が開始されました。2003年から現在までに日本全国に170,000名を超す防災士が誕生し、防災や減災活動のリーダーとして活動しています。

大震災などの災害の発生を防ぐことはできませんが、これら災害に対する十分な知識と万が一発生した場合の対応知識を備えることにより、私たちの生命や財産に対する損害を大幅に軽減させることが可能です。今後発生するであろう首都直下地震や南海トラフ巨大地震、気象災害に備えて、減災と社会の防災力向上を目指し活動する防災士は、これからの日本に欠かせない存在となります。（※防災士研修センターHPからの転載）

2 様式第 1 号 (第 3 条関係)

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	17		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和3年 3月19日	支出額	44,330 円
経費の内容	ラクスル 会派報10号 B4判11000枚 ミスによる再印刷費 (領収書に記載がある場合、記入不要)		

※ 領収書貼付欄

※ (貼りきれないときは裏面へ)

別 紙 添 付



日付: 2021年3月19日
領収書番号: R-210319513766

フォーラム伊達・公明 御中



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥44,330-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
210319513766-01	(フォーラム伊達・公明会派報 2021.3月発行 (10号)) チラシ・フライヤー、B4,両面カラー,光沢紙(コート),標準 : 90kg	11,000部	受付日確定後 4日以内	¥46,310
注文内容:				¥46,310
注文合計:				¥46,310
キャンペーン値引き:				¥-6,010
消費税:				¥4,030
ご請求合計金額:				¥44,330

商品:

コンビニ支払い

フォーラム伊達・公明

◆新型コロナウイルスワクチン 接種率100%！

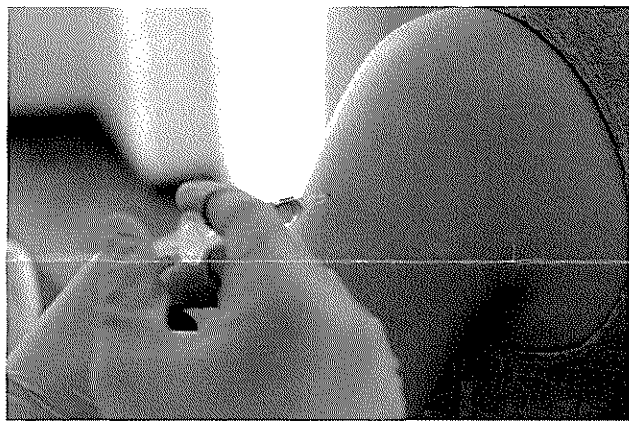
3月定例議会の一般質問では、『新型コロナウイルスワクチンに関すること』について質問致しました。冒頭市長に、現在の市民の最大の関心事は何かと質したところ、「新型コロナウイルスワクチンの接種に係ることではないでしょうか」との答弁がありました。今定例議会では13名の登壇者の中で5名の同僚議員が、この件を質問したことからも市民の関心の高さが窺えます。

次に、接種の努力義務について伺ったところ、「定期接種のため努力義務がありますが、妊婦の方については、現時点では十分な情報が無く安全性が確立していないため、努力義務にかかる規定を適用しない」とのこと。また、接種会場については、集団接種は各地区5カ所の体育館、また、掛かりつけ医により接種が可能です。会場への交通手段にデマンドタクシーを無料で活用で



きないか質したところ「検討する」とのことでした。さらに、蔓延防止のためには高い接種率の目標が必要と訴え、接種率の目標を伺ったところ、市長から「100%を目指します」との力強い答弁がありました。

最後に、未曾有の大事業完遂のための決意を市長に求めたところ、「1年以上続く新型コロナウイルス感染症から早く抜け出して、元の安心した生活に戻りたいというのが市民の強い思であります。ワクチン接種は、この感染症を終息させる切り札だと考えておりますので、安心して、そして迅速に接種できる体制を構築していくことが必要であると考えます。そして、医療従事者には接種に専念してもらえ体制を整えるために、市職員一丸となり市民の命と健康をしっかり守る体制を整えていきたいと思っております」との答弁をいただきました。



◆事前着工の疑い!?新工業団地造成工事

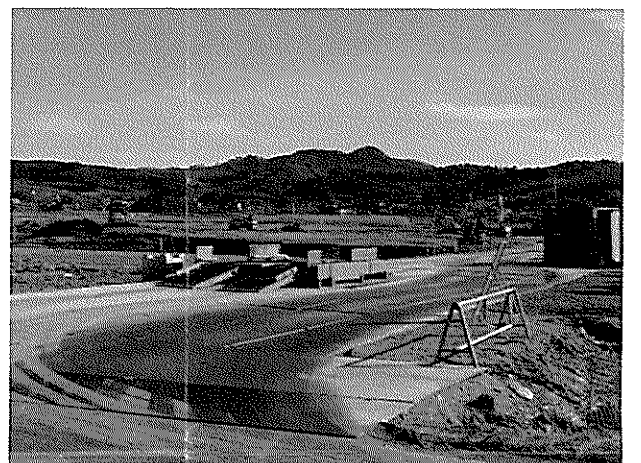
伊達市の最大の課題は人口減少と少子高齢化への対応です。活力ある持続可能な伊達市を実現するためには若者の定着を図ることが重要であり、市は雇用創出のため保原町に約15ha（東京ドーム約3個分）の新工業団地を整備する計画です。令和3年度当初予算にその用地買収費用として約5億円、造成費用として2年間で約17億円の予算が計上されました。令和4年度中の完成、販売開始を目指しています。

このような中、買収予定地で造成工事が始まっているかのような状況になっているので、3月定例議会の総括質疑で執行部に質しました。答弁では、国土交通省が福島市で行っている阿武隈川河道掘削工事で出た残土を買収予定地に仮置きしてい



るとのことでした。土地利用にあたっては、地権者と国が直接契約しており市の関りはないとのこと。ただ将来的に残土を造成に使う場合、放射線量や地震による液状化などの懸念がありますので執行部に質したところ、現在予定地の空間放射線量は0.07～0.11μSvで心配はないとのこと、液状化についても残土利用に問題はないとのことでした。残土を造成に利用した場合の経済的効果については、約1億円程度の予算削減効果が見込まれるとのことでした。

最後に、3月定例議会終了後1日も早く地権者への用地買収費用の支払いと早期の完成をお願いしました。予算総額約24億円の大事業ですので、今後も企業誘致活動も含めしっかりと見守ってまいります。



◆「殺処分ゼロへ！」急げ動物愛護推進事業！



平成30年度福島県の犬猫殺処分数は全国でワースト1位となった。市内にはそれを限りなくゼロに近づけようとする地域ボランティアがいる。それを踏まえ一般質問で取り上げた内容をいくつか紹介します。まず市民が放浪犬・猫を保護した場合どうすればよいのかの質問に対して、市民が市や警察署に連絡すると市の担当あるいは警察がそれを引き継ぎ、動物愛護センターに連絡し引き渡すことになっているが、法律改正により所有者ありと推測される場合等引き取れない場合があるとの答弁でした。また市の動物愛護に対する認識を質したところ、ペットは生活に欠かせない存在であり市民の関心が高いと認識している、一方で飼い主の知識不足、モラル欠如などで苦情が寄せられていることもあり、調和を図り快適な共存生活を実現することが重要との答弁でした。次に地域で活動しているボランティアを把握しているか質したところ、市はボランティア団体を把握していないことが分かった。既存ボランティアは認知されるよう法人格取得などの活動が必要であることが浮き彫りになった。また市は県で行っている「ボランティア養成講座」を受講いただき動物愛護推進の啓蒙の人材として協力いただきたいと見解を述べた。

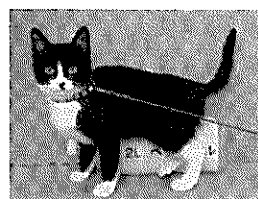
自然災害発生時におけるペット同行避難について質したところ、現在避難所は同行避難できない状況であるが、今後対応できる施設を選定しゲージ等必要品を持参する原則での施設設置と改正ハザードマップに記載することも検討するとの答弁だった。ただ平時より飼い主がペットの預け場所等の確保など準備しておくことも重要だと感じた。教育現場での取り組みについての質問には「生命尊厳と思いやりの心」を学校経営ビジョンや教育計画に位置付けとり組んでおり教育長は取り組むことで「いじめ」などの問題解決にもつながると見解を述べた。最後にふるさと納税を原資に猫の去勢、不妊治療などの助成など動物愛護事業を立ち上げるべきとの提案に、市長から各地域で取り組まれている動物愛護プロジェクトについて調査研究を始めると前向きな答弁をいただいた。

不妊去勢手術を実施しましょう

猫は本能に従って交尾、妊娠・出産をします。
自分で繁殖をコントロールすることはできないのでどんどん増えます。

メスの生殖生理

- 子猫は、生後4～12か月で繁殖できるようになり、1回の出産で4～8匹の子猫を産み、栄養状態が良いと1年で2～4回の出産が可能です。
- 1匹の猫が1年間で20匹以上に、2年で80匹以上に増えることが可能です。



4か月齢のメス猫



◆「防災士」を目指し、養成研修講座を受講！



フォーラム伊達・公明は「防災士」の資格取得を目指し、2月6、7日の両日、郡山市労働福祉会館で開催された防災士養成研修講座に参加しました。参加に際しては、事前の自宅学習と課題の提出が義務付けられており、3人とも硬くなった頭をフル回転して350ページもあるタウンページのような教材と格闘、10時間程度かかる課題をなんとかこなして研修講座初日に臨みました。2日間の午前9時から午後5時までの過酷な缶詰研修終了後、同会場で午後5時半から防災士資格取得試験を受験。合格ラインは30問の8割、24問以上正解しなければなりません。迷った問題も何問もありましたが、後日合格通知が届き、無事3人とも合格いたしました。

早速、「防災士研修講座受講終了証」と「防災士資格取得試験合格」「普通救命講習終了証」の3つを添付し、日本防災士機構へ防災士認証登録申請を行い、現在「防災士認証状」と「防災士証」が届くのを心

待ちにしております。今後もこの知識を活かし、地域の防災リーダーとして、そして安全・安心なまちづくりに貢献してまいります。

防災士とは、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有するものとして、NPO法人日本防災士機構が認定した人たちです。

災害大国である日本において、日常から防災対策は欠かせません。1995年の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて、予測不可能な被害に対し、正しい知識と適切な判断を兼ね備えた人材を育てようと、防災士制度の検討が開始されました。2003年から現在までに日本全国に170,000名を超す防災士が誕生し、防災や減災活動のリーダーとして活動しています。

大震災などの災害の発生を防ぐことはできませんが、これら災害に対する十分な知識と万が一発生した場合の対応知識を備えることにより、私たちの生命や財産に対する損害を大幅に軽減させることが可能です。今後発生するであろう首都直下地震や南海トラフ巨大地震、気象災害に備えて、減災と社会の防災力向上を目指し活動する防災士は、これからの日本に欠かせない存在となります。（※防災士研修センターHP からの転載）

様式第1号（第3条関係）

会派（議員）名

フォーラム伊達・公明

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	19		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和 3 年 3 月 25 日	支出額	36,960 円
経費の内容	ケンオリ 伊達市内福島民報新聞折込代 （領収書に記載がある場合、記入不要）		
※ 領収書貼付欄（貼りきれないときは裏面へ）			

領 収 証

A No 013247

2021 年 3 月 25 日

フォーラム伊達 公明 様

金 額 436960

但し 折込料 617

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1,000円
1,000万円以下	2,000円

種 別	金 額
現金・小切手	
振 込	
相殺・その他	
手 形	

上記金額正に領収いたしました。

KenOri 株式会社 ケンオリ

日本 社 〒963-0724 福島県伊達市上杉会館ビル522-3
 TEL (024)944-2400 FAX (024)944-6980
 仙台 支 店 〒965-0059 仙台市青葉区中央1-13-24 仙台ビル2F-A
 TEL (022)217-6766 FAX (022)721-5580

福島 支 店 〒961-2203 福島県福島市本町2-1-1
 TEL (0246)24-2500 FAX (0246)24-2504
 いわき 支 店 〒970-0025 いわき市千原町2-2-3
 TEL (0246)24-2500 FAX (0246)24-2504

代表取締役社長 大川原 順一

取扱者印



（金額訂正、並びに社印取扱者印無きものは無効です）

支 出 総 括 表

費用区分「事務諸費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
2	2020.04.12	Amazon	モニター台	2,889	
6	2020.06.25	Amazon	ICレコーダー	7,109	
12	2020.11.03	コジマ電気	ICレコーダー用マイクロSDカード	980	
15	2021.03.03	伊達市	タブレット年間通信費	45,576	
	計			56,554	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

2 様式第 1 号（第 3 条関係）

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	2		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 <u>事務諸費</u> その他の経費		
支払年月日	令和 2 年 4 月 1 2 日	支出額	2, 8 8 9 円
経費の内容	モニター一台 2 個分 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ)			
別 紙 添 付			

注文番号249-6214810-6992654の領収書
このページを印刷してご利用ください。

発行日: 2020年4月26日
注文日: 2020年4月16日
Amazon.co.jp 注文番号: 249-6214810-6992654
ご請求額: ¥ 2,889

藤原 達・公明 様

2020年4月17日に発送済み

注文商品

1点 FITUEYES 机上台 2セット モニター台 モニターライザー キーボード収納 幅385mm 高さ調整可能 透明 ガラス製 DT103803GC

販売: somie (出品者のプロフィール) | 商品についての質問は [こちら](#)

コンディション: 新品

価格
¥
2,889

お届け先住所:

池田 英世

配送方法:

お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:

請求先住所:

池田 英世

商品の小計: ¥ 2,889
配送料・手数料: ¥ 0

注文合計: ¥ 2,889

ご請求額: ¥ 2,889

クレジットカードへの請求

2020年4月17日: ¥ 2,889

注文の状況を確認するには、[注文内容](#)をご覧ください。

2 様式第 1 号（第 3 条関係）

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	6		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 <u>事務諸費</u> その他の経費		
支払年月日	令和 2 年 6 月 2 5 日	支出額	7, 1 0 9 円
経費の内容	IC レコーダー購入費 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 ※ (貼りきれないときは裏面へ)			
別 紙 添 付			

注文番号249-7228016-3538247の領収書
このページを印刷してご利用ください。

発行日: 2020年6月27日
注文日: 2020年6月25日
Amazon.co.jp 注文番号: 249-7228016-3538247
ご請求額: ¥ 7,109

〒100-0001 東京都千代田区千代田 様

2020年6月25日に発送済み

注文商品
1点 ソニー ICDレコーダー 4GB リニアPCM録音対応 ゴールド ICD-PX470FN
販売: アマゾンジャパン合同会社
コンディション: 新品

価格
¥ 7,109

お届け先住所:
池田 英世

配送方法:
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:

請求先住所:
池田 英世

商品の小計: ¥ 7,109
配送料・手数料: ¥ 0

注文合計: ¥ 7,109

ご請求額: ¥ 7,109

クレジットカードへの請求

2020年6月25日: ¥ 7,109

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

2 様式第 1 号 (第 3 条関係)

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員

整理番号	12
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 ○事務諸費 その他の経費
支払年月日	令和2年11月 3日 支出額 980 円
経費の内容	ICレコーダー用マイクロSDカード (領収書に記載がある場合、記入不要)

※ 領収書貼付欄

※ (貼りきれないときは裏面へ)

(原本)

領 収 証



フォーラム伊達・公明 様

¥980-

(内、消費税等 ¥89-)
お品物 (レコーダー用マイクロSDカード) 代として
上記正に領収致しました。

「コジマ×ビックカメラ」ますます便利に！
その1 ポイント交換でお得にお買い物！
その2 どちらのお店でも修理を承ります！

2020/11/03/12:08 レジNo522/0101
取引No9054

4991348073763 MICN16GJVZ3
マイクロSD ¥980
P_ID=980
合計 ¥980
(内、消費税等 ¥89)
点数 1

お支払い ¥980
現金 ¥1,000
(内、消費税等 ¥89)
釣銭 ¥20

現在のポイント状況
ポイント対象額 NG8005883828* P98
ポイント 10% ¥980
今回発生ポイント 98
ポイント残高 1,098
今回のお買上げによりポイントサービスの有効
期日が2021年11月02日に延長されました。



※領収書貼付欄

(写)

領 収 証



コジマ×ビックカメラ 福島店
電話番号 024-553-0090

ホームセンター・公明 様

¥980-

(内、消費税等 ¥89-)
お品物 (レューター (マイクDSD) 代として
上記正に領収致しました。

「コジマ×ビックカメラ」ますます便利に！
その1 ポイント交換でお得にお買い物！
その2 どちらのお店でも修理を承ります！

2020/11/03/12:08 レジNo522/0101
取引No9054

4991348073763	MHCN16GJVZ3	
マイクDSD	¥891	¥980
P.10=980		
合計		¥980
(内、消費税等		¥89)
点数 1		

お支払い	¥980
現金	¥1,000
(内、消費税等	¥89)
釣銭	¥20

現在のポイント状況

ポイント対象額	NG8005883828* P98	
ポイント 10%		¥980
今回発生ポイント		98
ポイント残高		1,098

今回のお買上げによりポイントサービスの有効
期日が2021年11月02日に延長されました。



2 様式第 1 号（第 3 条関係）

会派(議員)名	フォーラム伊達・公明
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	15		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 <u>事務諸費</u> その他の経費		
支払年月日	令和 3 年 3 月 3 日	支出額	4 5, 5 7 6 円
経費の内容	タブレット 年間通信費 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 ※ (貼りきれないときは裏面へ)			
別 紙 添 付			

納入通知書兼領収書

15

〒 960-0663	
福島県伊達市保原町字舟橋 180 番地	
フォーラム伊達・公明 代表 大條一郎	
様	
令和 2年度	現年
調定番号	1016704
納付書番号	20193
担当課 議会事務局	
金額 45,576 円	
摘要 タブレット通信料（令和2年4月～令和3年3月分）	
会計 01 一般会計 款 20 諸収入 項 05 雑入 目 06 雑入 節 08 雑入 細節 07 雑入 細々節 01 雑入	
納期限	
上記の金額を納期限までに納入してください。	
福島県伊達市長	
須田 博行	
上記の金額を領収しました。	領収日付印
福島県伊達市会計管理者	
分任出納員	
取扱金融機関	

(納入者保管)

※返納通知書兼領収書貼付欄

② 返納通知書兼領収書

〒 960-0663

福島県伊達市保原町字舟橋 1 8 0 番地

フォーラム伊達・公明 代表 大條一郎

様

令和 2年度	現年	戻入番号	25393 - 1
		納付書番号	22551

担当課 議会事務局

金額 477,378 円

摘要 令和2年度政務活動費下半期交付分（フォーラム伊達・公明 3人分）実績確定に伴う戻入

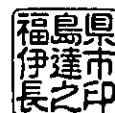
会計 01 一般会計
款 01 議会費
項 01 議会費
目 01 議会費
節 18 負担金、補助及び交付金
細節 02 補助金
細々節 294 政務活動費補助金

納期限 令和 3年 4月 9日

上記の金額を納期限までに
納入してください。

福島県伊達市長

須田 博行



上記の金額を領収しました。

福島県伊達市会計管理者

分任出納員

取扱金融機関

領収日付印



(納入者保管)

議 長	事務局長	次 長	局 員
			    

様式第5号（第3条関係）



令和 2年 8月 13日

政務活動報告書

伊達市議会議長 高橋 一由 様

会 派 名 フォーラム伊達・公明

代表者又は議員名 大條 一郎



活動の種別	研修会・講演会 先進地・現地調査 要請・陳情 諸会議 その他（ ）
期間	令和 2年 8月 13日（木）
参加者名	大條 一郎 佐藤 直毅 池田 英世
訪問先又は主催者 （名刺添付可）	宮城県仙台市 mont・bell 仙台店 古澤早耶（前本社広報担当者、岳人編集）
場所	宮城県仙台市青葉区一番町2丁目1-2 仙台青葉通りビル1F モンベル 仙台店
行程及び旅費明細 （別紙添付も可）	【行程】 8月13日（木） 保原町→伊達総合支所→伊達桑折 IC →仙台泉スマート IC→昼食→モンベル仙台店 →仙台南 IC→伊達桑折 IC→伊達総合支所→保原 【旅費】 ￥11,520×3/4（会派3名＋1名）＝￥8,640 （内訳） 交通費 ￥6,660 高速料金 ￥3,860 駐車料 ￥1,000

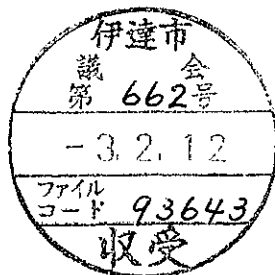
活動の内容 及び成果等	【目的】 これからの地域社会での自転車活用について及びアウトドアを活かした観光について「モンベル仙台店」視察 【内容と成果】 1・アウトドアの傾向と伊達市の可能性について ここ数年健康志向の登山やトレッキングなど中高齢者のアウトドア志向が強まっている、また若者の世代でアニメなどの影響もありキャンプが流行の兆しが表れている。伊達市内の霊山を中心とした地区の活性化に最近作成されたジャパンエコトラック 18 番目のコース「吾妻・安達太良・霊山・松川浦」などモンベル会員 90 万人に知らせられていることから期待が高いと確認できた。 2・フレンドエリアの考え方と伊達市の 1 次産業について モンベルは提携しているフレンドエリアなどの 1 次産業品や加工品、6 次化製品の紹介を積極的に推進している。モンベル 7 つのチャレンジの一つに農林水産業の支援がある。全国第 2 位を誇るモモやキュウリ、あんぽ柿のアピールに可能性があることが分かった。 3・自転車を活用した地域活性化について ここ数年サイクリングブームが起こっている、またコロナ禍もあり都会でも公共交通機関からの乗り換えが進んでおり可能性は広がっている。行政として高齢者の免許返納者に対しても自転車の提供やそれらの基になる交通網や制度、交通意識の教育の構築など課題はあるが進むべき方向性は時代にマッチしていると考えられる。社会基盤が整備すると同時に観光、イベント開催など行うべきと話し合った。 4・アウトドアを推進するモンベルと自治体の関係性について 北海道をはじめ、いくつかの自治体と協議し施設をオープンしたところに多くの交流人口を増やすことができた、そのノウハウがモンベルにはある。機会があれば前向きな話し合いができることを確認した。 5・梁川地域、霊山地域の活性化について 辰野勇会長と大阪の本社で産業建設常任委員会視察で会談したことに触れ、梁川から丸森町までの阿武隈川のカヤックコース、「道の駅りょうぜん」などの活用について提案した、機会があれば提案すると確認した。 6、今後の交流について（まとめ）
------------------------	---

	東北中央道伊達桑折 IC ができ大型商業施設の誘致など伊達市を取り巻く環境が変化する中、福島県初の出店や交流人口の増加など課題に双方で意見交換の場をつくることの重要性を確認しました。また首長と会長との話し合いができれば更に実のあるものになることなどを確認し合った。
--	---

議 長	事務局長	次 長	局 員
			   

様式第 5 号 (第 3 条関係)

令和 3 年 2 月 12 日



政務活動報告書

伊達市議会議長 高橋 一由 様

会 派 名 フォーラム伊達・公明

代表者又は議員名 大條 一郎



活動の種別	研修会・講演会 先進地・現地調査 要請・陳情 諸会議 その他 ()
期間	令和 3 年 2 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日)
参加者名	大條 一郎 佐藤 直毅 池田 英世
訪問先又は主催者 (名刺添付可)	防災士研修センター 防災士養成講座
場所	福島県郡山市虎丸町 7-7 郡山市労働福祉会館 3F 大ホール
行程及び旅費明細 (別紙添付も可)	【行程】 2 月 6 日 (土) 保原町→伊達桑折 IC→郡山 IC→郡山労働福祉会館 →スターホテル→労働福祉会館→郡山 IC →伊達桑折 IC→保原 【旅費】 (内訳) 交通費 ￥5,550 高速料金 ￥3,200 ￥8,750

活動の内容
及び成果等

【目的】伊達市の防災意識を醸成する一助となるために知識と技術を
深め寄与すること及び地域防災組織の啓蒙に努めるために研
修を受講する。

【内容と成果】

1・防災士に期待される活動について

1995年阪神・淡路大震災が起こった。マグニチュード7, 3の
都市直下型の典型的な震災であった。死者6434人であった。実
にその80%が倒壊した建物、家具による圧死または窒息死であっ
た。また当日は市街地各所で新建築基準を満たしていない鉄筋コン
クリート建築物及び木造建築物が倒壊、各所で火災が発生し公助と
呼ばれる消防・警察・行政・自衛隊の派遣は著しく遅れた。しかし
地域住民の救助により多くの被災者を救出することができ、「自分自
身」や「自分のまちは自分で守る」というような自主的な防災意識
が芽生え全国的に広がる「防災士」を誕生させるきっかけとなった。
「自助」「共助」「協働」を旗印に地域防災組織の要として行政と地
域住民の間を取り持つ存在として注目されている。

2・防災士が行う各種訓練について

各種災害に関する知識を身に付け、あらゆる情報を正しく理解し分
析する、それをもとに地元の防災に役立てることを行う

例えば、避難所の運営管理方法。地域防災意識の向上の啓発、各種
イベントにおいてタイムラインの作成練習や、救命救急技術の取得
など

3・地震・津波による災害について

日本の国土は地球上の陸地の0.2%に過ぎないが、全世界で起こる
地震の20%は日本で起きている。また世界中に存在する大陸プレ
ートは十数枚あるが、うち4枚が日本列島付近の地下で複雑に交差
している。また国土の70%が山岳であり平地が少ない。降雨量も
世界平均の約2倍である。また加えるなら台風の通り道にある。以
上のことから地震、その他の自然災害が多発しやすい国土であるこ
とを認識する必要がある。

4・地震・津波への備えについて

伊達市は津波による被害想定はないが地震による被害に関してはも
う少し意識を持つように心がけるべきだ。端的に言えば①耐震化の
すすめ、②家具の固定化率を挙げることである。

5・気象災害・風水害について

伊達市は令和元年東日本台風による甚大な被害を被った。ここ数年地球温暖化による台風災害が非常に増えている。観測機器の発達による気象予報が正確さを増すなかでも年々被害が膨らむ理由は、低い意識「正常性バイアス」によるものなど払しょくしなければならぬ事項が多いことを学んだ。

バックビルディング現象、線状降水帯、バックウォーター、大雨特別警報、記録的豪雨、50年に1度の豪雨など耳にすることは多いが本当の意味を理解し身を守る行動をとることの難しさを学んだ。

6、災害関連情報と予報・警報について

日本で一番最初に出された気象予報は、大風豪雨警報であった。天気予報ではなく、多くの人の命を守るという思いが形になって警報になった。

東北地方整備局、東北地方水災害予報センターなどの出すデータ、「レーダーアメダス解析雨量(1h、24hなど)」「土砂災害警戒判定メッシュ情報」などの解析を専門にできる職員を養成することが事前に起こるであろう災害を予知し、避難対策に応用できることを学んだ。

7・被害予想・ハザードマップと非難情報について

被害想定は日時、季節によって大いに変わる

例1 東日本大震災 溺死92%

関東大震災 焼死87%

阪神・淡路大震災 圧死・窒息等83%

例2 御岳山噴火 1979年10月28日早朝 死者 0人

〃 同規模噴火 2014年 9月27日昼 死者・不明 63人

同規模の災害でも時間、季節によって被害は全然別物になることを学んだ。被害想定の出し方は一通りではない、あらゆる可能性を考慮した被害予想を考えることを学んだ、またハザードマップもデータの更新、タイプ別など新たに加えるものもあると実感した。最終的に避難予想図やハザードマップは単なる地図でしかなく、それを意識してみる目を養うことが最大の防災になることを学んだ。

8・自主防災組織と地区防災計画について

今回の講習会で一番決意をもって聞いた内容が本テーマであった。緊急災害時において公助は時間的、地域的に限りがある。そこで地域住民による自主的な活動を通し地域に即した地区防災計画を作成し地域住民が主体者になり避難訓練、避難所運営を行い行政に対し

て地域防災計画に盛り込んでもらい、公的な意味合いを持たせることができるという、中心的な役割を担うのが防災士であると学んだ。

9・避難所の設置と運営協力について

行政に任せるだけでなく、地域住民・避難者による運営を行うこと、女性を運営責任者の中に入れること、ほかトイレ問題等詳細にわたり学ぶことができた。

10・土砂災害について

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒情報等中山間地を多く持った本市に対して行えることが多くあり、今後学んだことを防災に生かしていきたい。

11・まとめ

今講習において日本は地理的、気象学的に歴史を見ても自然災害との戦いであったことが分かった。またそれを乗り越えてきた祖先の営みも十分理解できた。これからも自然災害が地球温暖化委によりますます進み「想定外」という言葉も多く耳にすることになるだろう。

半面、「のど元過ぎれば熱さ忘れる」といった防災意識の低下による災害時の被害拡大を無視するわけにはいかない。この講習会をうけ意識の持ちよう、地域とのかかわりを再度考慮し今後の伊達市の防災に会派一同尽力していきたい。